

論点メモ

(ネクストステージの総合計画に関する研究会)

2018年12月

(公財) 日本都市センター研究室

■ 「総合計画」の内容に係る課題・論点

論点1 超高齢・人口減少社会に対応した計画の目標設定

- ・ 多様な世代の複層的な時間軸に対応した政策ごとの計画期間の設定
- ・ 長期的な視点で定める土地利用計画と短期的な課題(医療費抑制)に対応したソフト政策(福祉・健康政策)との連携・整合性を担保するための「総合計画」の位置づけ
- ・ 自治体財政の持続可能性に限定されない、地域社会・空間の持続可能性を見据えた目標設定と具体的なプラン・ビジョンのあり方
- ・ 各自治体の特性(規模・現況土地利用・所在地域など)による多様な目標設定とそれに対応した「総合計画」のあり方
- ・ (自治体の政策努力で対応可能あるいは全国との相对比较により評価可能な課題と、全国的(あるいはグローバル)な傾向としての課題との議論の切り分け?)

論点2 地域計画としての総合的な空間計画のあり方

- ・ 都市部と農村部の土地利用を一元的に計画することの意義と課題
- ・ 立地適正化計画の成果・可能性と課題・限界の検討
- ・ 自治体全体の計画と地域別計画の関係性
- ・ 計画(ビジョン・プラン)の実効性を担保する土地利用行政・規制制度
- ・ 海外における土地利用・空間計画制度のあり方
- ・ 環境保全・防災の視点からみた持続可能な土地利用・空間計画

論点3 空間計画と具体的な施策との連携のあり方

- ・ 福祉政策と土地利用・まちづくりとの連携の必要性
- ・ 医療・福祉政策を目標・目的・制約条件としたまちづくりのあり方
- ・ 人口減少局面における緩やかな縮退のための手法としてのソフト政策
- ・ 空家・空地化などの変化が局所的・偶発的に進行する過程(スポンジ化)における暫定的な空間利用と長期的な整序手法の計画への組み込み
- ・ 総合的なまちづくりによる福祉政策への波及・クロスセクター効果の評価
- ・ 計画期間が異なる土地利用－公共施設－福祉政策・施策を横断的に評価する仕組み(?)

■ 計画の検討プロセスに係る課題・論点

論点4 計画策定・検討・評価の根拠となる情報の管理・分析

- ・ 各所管部署が管理している空間情報の統合的な管理(統合型 GIS)
- ・ 社会・経済的な制約条件に係る情報の適切な評価
- ・ 自然的な条件(自然環境・生活環境・防災など)の評価と計画への反映
- ・ 行政データのオープンデータ化・ビッグデータ活用など ICT 活用の推進
- ・ 計画・政策による成果・効果の測定と、それに対する政策的な投資の適切な評価

論点5 自治体内部の体制に関する課題

- ・ 政策間の総合的な連携を適切に評価するための分析手法
- ・ 調査・分析・研究を行う自治体内の専門性(知見・人材)の確保・育成
- ・ 企画・政策担当部署、自治体内シンクタンク等による継続的な調査、データの一元的な整備・管理
- ・ 自治体の特性に応じた上記体制の多様なあり方の検討

論点6 自治体と外部との連携・参加に関する課題

- ・ 計画検討における市民の参加・意思反映プロセスのあり方
- ・ 政策の実行における住民・地域コミュニティとの連携・協働
- ・ 利害関係者(民間企業・事業者・非営利団体等)との連携・調整
- ・ 近隣自治体との計画レベルでの連携・調整